



みやがわ のりみつ 議員
宮川 徳光

町づくり

安全な高台への宅地確保は 入野地区で宅地造成事業を

問 安全な高台への宅地確保の計画は。
また、国営農地など高台の農地の宅地転用や、県管理地の弘野団地西側や西南大規模公園内の未活用の土地の活用は。



■候補地エリア 黒潮町入野
字 井ノ谷、エケ山、北エケ、西エケ、中エケ、中長谷、古庵、西払田、東払田、大岩、柳谷、シリナシ、エゲ頭、エゲ丸山

答 松本町長
現段階で計画しているのは、今議会に高規格道路の発生土活用事業として提案している入野地区宅地造成事業のみ。
事業の概要は、役場と錦野団地間の谷間11・9ヘクタールほどを、工事の発生土で役場の高さほかに盛土するもの。
なお、小高い山もあるが、現段階では切土の計

画はしていない。
また、国営農地は、農地転用は原則不可となつている現況に進展はなく、農地転用は出来ないことを認識している。
未活用の県管理地については、県と土佐西南大規模公園区域の区域変更や計画案を策定する中で協議を進めて来たが、今回の区域変更計画では区域除外となっていない。

集活センター

課題と対策は
各センターに
支援員を

問 町内の「集落活動センター北郷」、「同佐賀北部」、「同であいの里蜷川」、「同かきせ」の各センターの課題と対策は。

答 西村企画調整室長
各センター共通の課題は、スタッフの高齢化が進み、後継者の育成が必要だが、現状、世代交代がまだ見えてない状況にあること。このため、若い世代が入りやすい運営体制や、収益を生み出すためのアドバイス、サポートが必要と考えている。
今後も、各センターが地道に活動を継続しながら幅広い世代に集落活動センターの取り組みを知つ

て頂くことが重要で、それにより、活動へ協力しようという方々も増えてくると考えている。
また、これらの課題の解消を期して、令和3年度より、各センターに集落支援員を配置して運営のサポートを行っていく。なお、支援員には、地域の活動の安定を目指すと共に、その周辺地域の皆さんの日常生活も考えながらの支援をして頂きたいと考えている。

情報通信事業

伝送速度のアップは
昨年10月より
大幅増速を

問 情報通信事業のインターネット速度のスピードアップの状況は。
また、移住促進を期してサテライトオフィスなどの環境整備を図れないか。

答 徳廣情報防災課長
令和2年10月よりネット速度の大幅な増速に着手して、それまでの1.5倍の帯域を確保して、帯域不足が一定解消されたと考えている。
サテライトオフィスなどの環境整備については、近い将来、現在のネット環境に速度でのひっ迫が予想されるため、まずは、これの改善から考えていく必要がある。